

■【トピックス】

トランプ大統領訪日！



トランプ大統領が初訪日しました。初のアジア歴訪の最初の訪問国としての訪日です。横田米軍基地に到着した大統領は、その後ゴルフ場に行き、安倍首相とプロゴルファーの松山英樹氏と、9ホールをプレーしました。

トランプ大統領が滞在中、安倍首相は多く時間をともにしました。会談の中心議題は、貿易問題よりも北朝鮮対応であったということですが、防衛装備品の大量購入も決まったようです。

■【ビジネス・アイ】

株式の併合！

社長 「ANAホールディングスの株式を持っているんだけど、『株式併合および単元株式数変更のお知らせ』というのが郵送されて来て、これまでの10株が1株になるっていうんだよ。合わせて単元株式数を1,000株から100株に変更するって書いてあるんだけど、どういうことかな？」

花野 「そうですね。基本的に1,000株単位で株式を所有している人には影響ないですね。しかし、たとえば、3株しか所有していなかった人は、株式併合後には0.3株になって、1株未満の端数になるので強制的に買い取られますね」

社長 「そうなんだ。ということは少数の株式しか持っていない人を“排除”できるってことなんだね」

花野 「そうなんですよ。それだけ株主の管理コストも減らすことができます」

社長 「それだと、たとえば990株しかもっていなかった人はどうなるの？」

花野 「そういう人は株式の併合後は99株になって、単元未満株式になりますので、株主総会の決議には参加できなくなります。」

社長 「それなら、うちの会社でも検討してみようかな？少数株主がいるからね」

花野 「御社の場合、社長が一人で議決権の90%以上を保有されているので、特別支配株主の株式等売渡請求という制度も利用可能です」

社長 「その制度について、今度詳しく教えてよ」

花野 「承知しました」

■【今月のキーワード】

株式の併合

株式の併合とは、複数の株式を合わせて、それよりも少数の株式とすることである。株式の併合を行うためには、株主総会の特別決議が必要である。平成26年の会社法改正により、①事前開示・事後開示制度の導入、②差止制度の導入、③反対株主による株式買取請求制度の創設、が行われた。これにより、現金支払いによる少数株主の排除手法として、株式の併合が有力な選択肢の一つとなった。ただ、他の複数ある手法とのメリット・デメリットの比較は必要である。

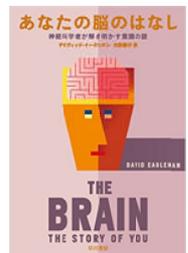
■【今月の1本】

『あなたの脳のはなし』

ディヴィッド・イーグルマン 著  
早川書房 ¥1800

われわれは、日常生活において、自らが主体的に意思決定しているように感じている。でもそれは単なる思い込みかもしれない。

人類は理性を進化させることにより、現在の繁栄を手に入れているが、本当のところは無意識に支配されているのかもしれない。脳科学の進歩により、理性的には不都合な事実が明らかになりつつある現状を垣間見れる1冊である。



■【編集後記】

久しぶりに、ひどい二日酔いになりました。それも出張先で。こここのところ調子が良かったので油断しました。やはり日本酒には要注意ですね。ワインは割と大丈夫になったのですが、何事も油断は禁物ですね（^^）

『経営のセカンド・オピニオン』vol.129（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2017.12.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルチビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>